

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

新潟県

学校名

新潟県立長岡向陵高等学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・特別活動

目標・人権教育のねらい

- ・子供（生徒）の間で発生している、インターネットやSNS等での誹謗中傷等による「いじめ」問題について考察する。
- ・特に、他人に対する思いやりやいたわりなど、他者理解を起点とした人権教育により、豊かな人権感覚を身に付け、「いじめ」のない人間関係を育む取組を実践する。

実施した内容

- ・新潟県SNS教育プログラムの実施（1時間）
- ・毎月の学校生活アンケート
- ・教育支援アプリを活用した、国や県からのいじめ防止に関する指導やメッセージ等の保護者への配信

工夫した点

- ・新潟県SNS教育プログラムの活用を通じて、SNS等の適切な使用方法を学習するとともに、インターネットやSNS等による誹謗中傷等の未然防止に努めた。
- ・年間を通しての人権教育、同和教育の学習により人権感覚を養うために、公民科や教科「情報」を通じて、基本的人権、情報化社会と連携してメディアリテラシーについて学習するなど各教科・科目とも取り組んだ。

他教科との
関連

- ・公民科で、基本的人権や情報化社会について学習した。
- ・教科「情報」で、メディアリテラシーについて学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

新潟県

学校名

新潟県立長岡向陵高等学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・特別活動

目標・人権教育のねらい

- ・今なお存在する同和問題を知り、差別のない社会を共に生きていく意識を育てる。
- ・被差別部落出身者から直接話を聞き、生徒が部落問題について理解を深め、自身の問題として捉える意識を育てる。
- ・同和問題に対して自分たちができることを話し合い、同和問題の解決に向けて主体的に取り組むことができるような活動を行う。

実施した内容

- ・部落差別の具体的な事例を学ぶため、ビデオ学習を行った。（1時間）
- ・人権教育、同和教育講演会を実施し、被差別部落出身者が受けた差別事例を直接聞き、今なお存在する差別に対する理解を深めた。（1時間）
- ・公開授業で生徒が同和問題に関する話し合いを行った。また、その改善と充実に向けて研究協議会を行った。（3時間）

工夫した点

- ・同和問題に対する生徒の理解を深め、問題に対して主体的に取り組む姿勢を育成するように留意した。公開授業を軸とし、事前学習、事後の振り返り授業と、一連の流れの中で同和問題への理解を深められるようにした。
- ・同和問題の学習を通して、男女共同参画の課題やいじめ問題も関連して考えるように指導した。

他教科との
関連

- ・公民科で、基本的人権について学習した。
- ・家庭科で、男女共同参画・共生社会について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

新潟県

学校名

新潟県立長岡向陵高等学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・特別活動

目標・人権教育のねらい

- ・ SNS等のインターネットにおける誹謗中傷は、いじめ事案として増加している。いじめは重大な人権侵害であり、その解決に向けて生徒が主体的に取り組むようにする。
- ・ 人権問題についての学習を通し、他者への理解を深め、尊重し、自分自身の自己肯定感の向上につなげられるようにする。

実施した内容

- ・ 「新潟県SNS教育プログラム」を活用した授業を行った。（1時間）
- ・ SNS等の取扱いについての指導を行った。（3回/年）
- ・ SNS等の取扱いといじめについての保護者の理解を深めさせるため、周知啓発等を行った（1年生入学時）

工夫した点

- ・ 学校におけるインターネットを通してのいじめや誹謗中傷事例を紹介し、重大な人権侵害であることを実感、認識できるようにした。
- ・ 話し合いを通し、他者の人権について考える中で、自己の人権についても改めて考え、自己肯定感を向上できるようにした。

他教科との
関連

- ・ 公民科で、基本的人権について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

新潟県

学校名

新潟県立長岡向陵高等学校

人権課題

性的指向、性自認

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・特別活動

目標・人権教育のねらい

- ・性的指向や性自認について、社会や時代の変化の中で、重要な人権問題であることを生徒が認識できるようにする。
- ・性的指向や性自認の課題は身近に存在するものであり、主体的に考えていこうとする姿勢を育成する。

実施した内容

- ・結婚や出産についての固定的性別役割分担意識などの特定の価値観にとらわれないことが重要であること理解するとともに、性的指向や性自認を理由とした偏見や差別をなくすために、多様な性について考え、話し合った。（1時間）

工夫した点

- ・性の在り方は、性的指向や性自認といった個人の人権を尊重すること踏まえて考えなければならないことに注意して指導した。
- ・家族や友人を含め身近に存在する課題であり、自身がどのように取り組むかを主体的に考える姿勢を育成するように留意した。

他教科との
関連

- ・公民科で、基本的人権について学習した。
- ・家庭科で、男女共同参画・共生社会について学習した。